

の結果が得られている。然し総体的に観察すれば天候による釣獲差は殆んどないと云えよう。

雨や曇での操業回数は64回で平均釣獲率は3.34%、晴の操業回数は118回で平均釣獲率は3.46%を示した。

⊗ 晴とは雨曇0~5、雨または曇とは雨曇6~10の観測データを整理したものである。  
雲量 雲量

### 各魚場の潮流

潮流観測は漁具の流向、流程を専ら天測位置から算出した平均流況である。(流況図参照)

#### イ) フィリピン東海

最強2ノットの南下流もあるが0.3ノットの緩慢な潮流を観測された。平均流速は0.96ノットで少々活発である。

#### ロ) ミクロネシア海域

トラック諸島の南側には2ノットの強い東進流が見られたが、処々に0.2ノットの弱流もあり、平均流速は0.5ノットで少々緩慢な流況である。

#### ハ) ハルマヘラ近海

北東流の1.8ノットが最強で西寄りに流れる潮流は0.3ノットの弱流がある。平均流速は0.93ノットでフィリピン東方近海に次ぐ速い流況を示している。

#### ニ) セレベス海

最強流速はミンダナオの南西側で東寄りに流れる2.5ノットの観測が1回だけなされたが、当海域の中央部一帯は南西寄りの潮流が最も多く0.2~1ノット程度の流況を示し平均は0.87ノットであった。

#### ホ) バンダ海

西寄りに流れる最強1ノットの流速から0.2ノットの弱流もあって、目立つような強流は見当らなかった。平均流速は0.67ノットであった。

### 水温の分布(°C)

#### イ) フィリピン東海

表面水温は、26.0~30.0、100m層で17.70~28.6、200m層で10.30~21.60である。

#### ロ) ミクロネシア海域

表面水温は、27.0~29.8、100m層で17.50~28.92、200m層は10.40~25.15である。

#### ハ) ハルマヘラ近海

表面水温は26.1~29.5、100m層で20.39~28.70、200m層は11.63~25.20である。